

お役にたてば幸い劇場



日曜午前放送の芸能人がたくさん出る番組で杉村大蔵氏が北海道とロシアとの距離と危機感を語っている。米国人芸能人がそれに対して「あなたは東京に住んでいるのになんで北海道の事ばかり言うのだ。」と愚かなコメントをしていた。まさにこれが今の東京の温度であり政府の感覚かもしれない。北海道知事は唯一ロシアと国境を接する島の代表としてロシア軍の即時撤退と平和的な戦後処理をアピールすべきである。ウクライナの例を見るまでもなくソ連は太平洋戦争のときポツダム宣言受託後に日露平和条約を一方的に破棄して満州、サハリンへ侵略してきた。その時どれだけの市民が虐殺され略奪され強姦さ

れたことか。日本では近代史の教育がタブーとされているようだが、北海道の人間は占守島の抵抗で本道の占領支配を免れたことを伝え続けるべきである。北海道知事はロシアが撤退した後から敵対国として北方領土での軍事演習や領空侵犯、漁船銃撃や拿捕の可能性に備えなくてはならない。根室から3キロにある北方領土からミサイルを発射されればどこまで届くのか。今ロシアの議会では「北海道はロシアの土地である」との妄言まで出ているらしい。フェイクをそのまま侵略の理由にする国が北海道に攻めてくるにはありえる話だろう。最大の危機感、最悪の危機管理を政府と知事に求める。



筆者紹介 株式会社あかりみらい代表取締役 越智 文雄

1980年北大法学部卒業。北海道電力、電気事業連合会、北海道洞爺湖サミット道民会議事務局次長などを歴任。電力業界で初代の危機管理担当室長の経験から自治体・企業へのアドバイザーとして活躍。環境・エネルギー問題の専門家。札幌ながらができる経済人ネットワーク主宰。